

sample

両国太郎

様邸

〇〇〇〇株式会社

# HOME INSPECTION REPORT

建物検査報告書

ジャパンホームシールド株式会社

# 検査概要

本検査は、ジャパンホームシールド(株)が品確法に定められている瑕疵担保責任の対象となる基本構造部分についての確認を行う為に、建築基準法、一般的な木造住宅工事施工基準及び、既存住宅売買瑕疵保険検査基準に基づいた、チェックシートにて実施しております。

1. 検査現場名 様邸

---

2. 検査現場住所 山口県

---

3. 検査建物構造 木造 2 階建

---

4. 検査内容 基礎配筋検査・基礎立上り検査  
構造検査・防水検査

---

5. 検査引き受け会社 ジャパンホームシールド株式会社

---



ジャパンホームシールド株式会社

〒130-0026 東京都墨田区両国2-10-14 両国シティコア17F

TEL 03-5624-1545 FAX 03-5624-1544



# 基礎配筋検査チェックシート

ジャパンホームシールド(株)

事業者登録No.	〇〇〇〇	事業者様名	〇〇〇〇株式会社	検査員	
物件番号	S2019000000	物件名称	両国太郎	様邸	〇〇〇〇
物件住所	東京都墨田区〇〇-〇〇				現場立会者
検査日時	'19年 〇月 〇日 〇:〇 ~ 〇:〇				〇〇〇〇様

工事項目	検査項目	検査内容	写真	判定		備考	
				目視	計測		
全景	現場看板、又は背景を含む現場全体の写真を撮影する		○				
基礎	基礎図との照合はしたか						
	配筋状況の確認	基礎立上がり部分上下端主筋	D13以上	○			
		基礎立上がり部分その他配筋	D10以上、@300mm以下				
		布基礎仕様	フーチング配筋 D10以上、@300mm以下				
		ベタ基礎仕様	スラブ配筋 D10以上、@200mm以下 又は D13以上、@300mm以下				
	スペーサーブロック	高さ60mm以上・1000mm内外毎に配置（基礎下端部分）		○			
	立上がり継手補強の確認	直線継手部分	40d 以上（全）	○			
		入隅・出隅部分	40d 以上（全） （互いに折り曲げる場合は各方向共300mm以上重ね合わせる）	○			
		T・十字部分	40d 以上（全）				
	床下換気口廻り	補強の確認 横筋・斜め筋					
	人通口廻り	端部タテ筋補強の確認 （切断箇所と、末端のタテ筋の距離が100mmを超える場合）		○			
	配管貫通孔廻り	補強の確認（100φ以上の場合）					
		補強筋径の確認					
	捨てコンクリートが施工されているか、地業のみの場合は大きな不陸はないか						
ベース型枠 （布基礎の場合）	布基礎フーチングが設計図書以上の仕様か確認						

※（全）は全数確認、その他は抽出による確認

判定 ○：合格 ×：不合格、再検査 ー：対象箇所無し

※適合しない場合は、対策を施す事で合格とする

※JHSの基準に基づき各検査部位の確認を実施し合格判断をする（施工監理としての確認ではありません）

【備考】

工事項目	内容

基礎配筋検査 判定	<b>合格</b>	'19年 1月 1日	センター 責任者	〇〇〇〇
--------------	-----------	------------	-------------	------

※内容は変更の可能性があります(201910) sample

# 写真報告書

物件名称 両国太郎 様邸 検査日 '19年 0月 0日



現場全景



基礎立上がり



スペーサーブロックの配置

# 写真報告書

物件名称	両国太郎	様邸	検査日	'19年 0月 0日
------	------	----	-----	------------



継手補強（直線部）



継手補強（コーナー部）



人通口廻りの配筋状況

# 基礎立上り検査チェックシート

ジャパンホームシールド(株)

事業者登録No.	〇〇〇〇	事業者様名	〇〇〇〇株式会社	検査員
物件番号	S2019000000	物件名称	両国太郎	様邸 〇〇〇〇
現場住所	東京都墨田区〇〇-〇〇			現場立会者
検査日時	'19年 〇月 〇日 〇:〇 ~ 〇:〇			〇〇〇〇様

工事項目	検査項目	検査内容	写真	判定		備考
				目視	計測	
全景		現場看板、又は背景を含む現場全体の写真を撮影する	○			
基礎	基礎通り	基礎の通りに著しい曲がりがない				
		基礎通り 図面と照合				
		人通口配置 図面と照合				
		間崩れ配置 図面と照合				
	基礎高	基礎内部高さ 図面と照合				
	アンカーボルト ホールダウンボルト	仕様 Zマーク	○			
		配置・本数 図面と照合				
		通り、曲がり、芯ズレの確認	○			
		アンカーボルト根入れ深さ 250mm以上	○			
		ホールダウンボルト根入れ深さ 360mm以上 (仕様：フィストアンカーボルトM16 L=900)				
	型枠確認	底盤と立上り部の打ち継ぎ面は清掃されている				
		立上りかぶり厚 40mm以上 (スペーサー部にて確認)	○			
基礎幅 150mm以上 (型枠に倒れ・ゆがみがない)		○				
鉄筋にセメントペースト等の付着物除去されている						

※(全)は全数確認、その他は抽出による確認

判定 ○：合格 ×：不合格、再検査 -：対象箇所無し

※適合しない場合は、対策を施す事で合格とする

※JHSの基準に基づき各検査部位の確認を実施し合格判断をする(施工監理としての確認ではありません)

【備考】

工事項目	内容

基礎立上り検査 判定	<b>合格</b>	'19年 1月 1日	センター 責任者	〇〇〇〇
---------------	-----------	------------	-------------	------

# 写真報告書

物件名称 両国太郎 様邸 検査日 '19年 0月 0日



現場全景



アンカーボルト仕様



アンカーボルトの通り

# 写真報告書

物件名称 両国太郎

様邸

検査日

'19年 0月 0日



アンカーボルト根入れ深さ



被り厚さ



基礎幅

※内容は変更の可能性があります(201910)

sample

# 構造検査チェックシート①

ジャパンホームシールド(株)

事業者登録No.	〇〇〇〇	事業者様名	〇〇〇〇株式会社	検査員	
物件番号	2019〇〇〇〇〇〇	物件名称	両国太郎 様邸	〇〇〇〇	
現場住所	東京都墨田区〇〇-〇〇			現場立会者	
検査日時	'19年 〇月 〇日 〇:〇 ~ 〇:〇			〇〇〇〇様	

工事項目	検査項目	検査内容	写真	判定		備考
				目視	計測	
全景	現場看板、又は背景を含む現場全体の写真を撮影する		○			
基礎	著しいじゃんか、空洞及び亀裂等が発生していないか					
	立上り部分の寸法	外側高さ 400mm以上 内側高さ（内部防湿処理） GLより50mm程度高くなっていること 幅 150mm以上で図面通りか				
	床下換気	床下換気措置 基礎パッキン・1000mm以内毎に配置 アンカーボルト位置・柱下・土台継手・土台切れ基礎端部				
床束	床束の設置	床束の設置状況の確認				
土台	断面寸法	105×105以上・柱寸以上				
	基礎と土台の一致	基礎長さに不足はないか				
	土台継手位置	基礎開口部上部に無いこと				
		柱下部の至近位置に無いこと				
	火打ち土台の設置	設置箇所及び取り付けは適切か（21mm以上の厚物合板直張り除く）				
アンカーボルト	アンカーボルトの設置	耐力壁の柱の下部近接位置				
		土台切れ箇所				
		土台継手・仕口箇所上木側				
	アンカーボルトの締付け	ナットからねじ山が3山程度（特殊埋め込みアンカーは除く）	○			
	アンカーボルトの座掘り	50mm以内の深さであること				
床下地張り	材料	厚さ24mm以上の構造用合板等				
	床組と床材の釘打ち	間隔：150mm以内 種類：N75	○			
	床材の釘打ち状況	釘のめり込み等				

※（全）は全数確認、その他は抽出による確認

※適合しない場合は、対策を施す事で合格とする

判定 ○：合格 ×：不合格、再検査 -：対象箇所無し

※JHSの基準に基づき各検査部位の確認を実施し合格判断をする（施工監理としての確認ではありません）

【備考】

工事項目	内容

# 構造検査チェックシート②

ジャパンホームシールド(株)

物件番号	2019000000	物件名称	両国太郎	様邸
------	------------	------	------	----

工事項目	検査項目	検査内容	写真	判定		備考
				目視	計測	
柱	断面寸法	通柱 図面通りであること				
		管柱 図面通りであること				
	通柱・管柱の位置	図面通りであること (全)				
	柱設置位置	基礎開口部上部に無いこと				
耐力壁	耐力壁の配置	図面通りであること (全)				
	耐力壁の仕様	筋かい、たすき、合板耐力壁等 図面通りであること (全)				
	筋かい	取付け状況の確認				
	面材耐力壁の釘打ち	釘の種類・間隔 (全) 基準書参照	○			
横架材	梁の断面寸法	図面通りであること (火打ち梁の配置・取付け含む)				
	梁の継手位置	不適切な位置 (耐力壁内部・梁を受ける柱間・火打ち梁の内部) に無いことを確認 ※該当する場合は金物による補強				
接合金物	柱と横架材	<input type="checkbox"/> かど金物 <input type="checkbox"/> 山形プレート <input type="checkbox"/> ホールダウン金物 <input type="checkbox"/> その他	○			
	通柱	<input type="checkbox"/> かど金物 <input type="checkbox"/> 山形プレート <input type="checkbox"/> ホールダウン金物 <input type="checkbox"/> その他	○			
	筋かいと柱・横架材	<input type="checkbox"/> 筋交いプレート <input type="checkbox"/> その他	○			
	梁と横架材	<input type="checkbox"/> 羽子板ボルト <input type="checkbox"/> その他	○			
	耐力壁両端の柱	<input type="checkbox"/> かど金物 <input type="checkbox"/> 山形プレート <input type="checkbox"/> ホールダウン金物 <input type="checkbox"/> その他				
	梁成300mm以上の梁	<input type="checkbox"/> 羽子板ボルト2本 <input type="checkbox"/> その他				
	小屋梁・母屋と小屋束	<input type="checkbox"/> かすがい <input type="checkbox"/> その他				
	垂木と桁・母屋	<input type="checkbox"/> ひねり金物 <input type="checkbox"/> くら金物 <input type="checkbox"/> タルキック <input type="checkbox"/> その他				
小屋組	小屋梁の断面寸法	図面通りであること (火打ち梁の配置・取付け含む)	○			
	小屋筋かい・桁筋かい・振れ止め	取付け確認				

※ (全) は全数確認、その他は抽出による確認

※ 適合しない場合は、対策を施す事で合格とする

判定 ○：合格 ×：不合格、再検査 -：対象箇所無し

※ JHSの基準に基づき各検査部位の確認を実施し合格判断をする (施工監理としての確認ではありません)

【備考】

工事項目	内容

# 構造検査チェックシート③

ジャパンホームシールド(株)

物件番号	2019000000	物件名称	両国太郎	様邸
------	------------	------	------	----

工事項目	検査項目	検査内容	写真	判定		備考
				目視	計測	
防腐防蟻処理	防腐防蟻処理	GLより1mまで施工 (材質等により不要な物は対象外、仕様は住宅金融支援機構による)				
屋根	ルーフィングの仕様	アスファルトルーフィング940(22kg相当品)				
	ルーフィングの重ね幅	標準部 上下100mm、左右200mm以上				
		出隅・入隅部増し貼り、防水テープ止め				
		棟部・谷部 両方向へ250mm以上・増し貼り				
	ルーフィングの立上げ	下屋と外壁の取合い部は壁面に沿って250mm以上				
	軒先・けらばと外壁の取合い	軒先・けらばと外壁の取り合い部に防水シートを先張りする				

※(全)は全数確認、その他は抽出による確認  
 ※適合しない場合は、対策を施す事で合格とする

判定 ○：合格 ×：不合格、再検査 -：対象箇所無し

※JHSの基準に基づき各検査部位の確認を実施し合格判断をする(施工監理としての確認ではありません)

【備考】

工事項目	内容

構造検査判定	<b>合格</b>	'19年 1月 1日	センター責任者	〇〇〇〇
--------	-----------	------------	---------	------

※内容は変更の可能性があります(201910) sample

# 写真報告書

物件名称 両国太郎 様邸 検査日 '19年 0月 0日



現場全景



アンカーボルト



床組と床材の釘打ち

# 写真報告書

物件名称 両国太郎 様邸 検査日 '19年 0月 0日



面材耐力壁の釘打ち



柱と横架材



ホールダウン金物

# 写真報告書

物件名称 両国太郎 様邸 検査日 '19年 0月 0日



筋かい金物



表示板

羽子板ボルト



小屋組施工状況

# 防水検査チェックシート

ジャパンホームシールド(株)

事業者登録No.	〇〇〇〇	事業者様名	〇〇〇〇	検査員	
物件番号	S2019000000	物件名称	両国太郎	様邸	〇〇〇〇
現場住所	東京都墨田区〇〇-〇〇				現場立会者
検査日時	'19年 〇月 〇日 〇:〇 ~ 〇:〇				〇〇〇〇様

工事項目	検査項目	検査内容	写真	判定		備考
				目視	計測	
全景	現場看板、又は背景を含む現場全体の写真を撮影する		○			
外壁防水	防水シート	仕様を確認（JIS A6111もしくは同等以上）				
		施工を確認（原則横貼り）				
		軒桁及びバルコニー下の外壁部は軒桁まで施工されているか（全）	○			
	防水シートの重ね幅	上下90mm、左右150mm以上 （縦張りは上下、左右共100mm以上）	○			
	開口部廻りの防水	防水テープ等により防水処理されているか（全）	○			
	外壁貫通部の防水	防水テープ等により防水処理されているか（全）	○			
出窓・庇等 （現場造）	屋根板金両サイド	防水シートを両端に先張りしているか（全）				
	出窓・庇下外壁防水シート	防水シートが木下地上100mm以上先張り施工されているか（全）				
バルコニー	下地立ち上がり寸法	開口部直下120mm以上、他は250mm以上（全）				
	手摺部の防水	防水シートが上端部で重ね合わされているか（全）				
		天端面の防水シート重ね部分及びコーナー部分が、防水テープ等により防水処理されているか（全）				
		手摺開口部等の天端が一体成形品・防水テープ等により防水処理がされているか（全）				
壁との取り合い部	一体成形品・防水テープ等により防水処理がされているか（全）	○				
屋根	軒先・けらばと外壁の取合い	軒先・けらばと外壁の取合い部に防水シートが先張りされているか（全）				
	屋根の仕上がり状態	目視、瓦材の割れ、欠け等が無いこと				

※（全）は全数確認、その他は抽出による確認

※適合しない場合は、対策を施す事で合格とする

判定 ○：合格 ×：不合格、再検査 -：対象箇所無し

※JHSの基準に基づき各検査部位の確認を実施し合格判断をする（施工監理としての確認ではありません）

【備考】

工事項目	内容

防水検査 判定	<b>合格</b>	'19年 1月 1日	センター 責任者	〇〇〇〇
------------	-----------	------------	-------------	------

# 写真報告書

物件名称 両国太郎 様邸 検査日 '19年 0月 0日



現場全景



軒桁施工状況



防水シート重ね幅

# 写真報告書

物件名称 両国太郎 様邸 検査日 '19年 0月 0日



表示板

開口部廻りの防水措置



表示板

外壁貫通部の防水措置



表示板

壁との取り合い部

